

2025 年 度

日 本 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないように丁寧に消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～11ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の文章 A・B を読んで、以下の問に答えなさい。

【A】 律令国家の成立期には、中国にならって、政府主導の歴史書や記録の編纂が行われた。天武天皇の時代に始められた国史編纂事業は、のちに歴史書として完成した。^a元明天皇の時代の712年には『古事記』が完成し、つづく元正天皇の時代の720年には『日本書紀』が完成した。^b『日本書紀』ののちも歴史書編纂は続けられ、『日本書紀』を含めて六国史と総称されている。^cまた、奈良時代には、7世紀後半以来の漢詩をまとめた現存最古の漢詩集『懷風藻』が編まれ、和歌集『万葉集』も編まれた。^d^e

【B】 平安時代前期の9世紀頃には、文章経国の思想がさかんとなり、漢文学が発達して勅撰の漢詩集(漢詩文集)が編纂された。^fまた最初の勅撰の儀式書である『内裏式』が藤原冬嗣らによって編纂された。^g一方、当時は密教が盛んとなり、最澄や空海らによって多くの書物が著された。^h平安時代中後期の10世紀から11世紀頃には、かな文字が発達し、かな文字を使用した物語・随筆・日記などの書物が著され、最初の勅撰和歌集『古今和歌集』も編まれた。ⁱ^j

問 a. 下線部 a に関連して、天武天皇が『帝紀』『旧辞』をよみ習わせた人物として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 舍人親王 ② 額田王 ③ 石上宅嗣 ④ 稗田阿礼

問 b. 下線部 b に関連して、元明天皇の時代の動向に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 唐の貨幣にならって和同開珎が鑄造され、その流通をめざして蓄銭叙位令が出された。
- ② 藤原京から平城京への遷都が行われ、京は中央を南北に走る朱雀大路で左京と右京とに分けられた。
- ③ 郷土の産物や地名の由来、古老の伝承などを筆録させる命令が出された。
- ④ 蝦夷に対する支配がすすめられるなか、日本海側に新たに多賀城が築かれた。

問 c. 下線部 c に関連して、『日本書紀』を典拠とする史料Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 秋七月戊申の朔庚戌、大礼小野臣妹子を大唐に遣はす。鞍作福利を以て通事とす。…

Ⅱ 冬十月、百済の聖明王、…釈迦仏の金銅像一軀、幡蓋若干、経論若干巻を献る。…

Ⅲ 其の三に曰く、初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。…

- ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

問 d. 下線部 d に関連して、奈良時代の出来事として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 養老律令の制定
- ② 胆沢城の設置
- ③ 遣唐使派遣の開始
- ④ 新羅の滅亡

問 e. 下線部 e に関連して、『懷風藻』には大友皇子と長屋王の漢詩も収載されている。大友皇子と長屋王に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 天智天皇の皇子である大友皇子は、壬申の乱では大津皇子と皇位をめぐって争い、敗れた。

イ 天武天皇の孫である長屋王は、藤原不比等に謀反の嫌疑をかけられて自殺した。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 f. 下線部 f に関連して、勅撰の漢詩集(漢詩文集)に該当しないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 『経国集』 ② 『凌雲集』 ③ 『沙石集』 ④ 『文華秀麗集』

問 g. 下線部 g に関連して、藤原冬嗣に関する説明として適切でないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 孫が文徳天皇となった。
- ② 弘仁格式を編纂した。
- ③ 勸学院を設置した。
- ④ 法成寺を建立した。

問 h. 下線部 h に関連して、最澄と空海の書物に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 最澄は、大乘戒壇設立に反対する南都諸宗を論駁するために『顕戒論』を著した。

イ 空海は、遣唐使に随行して渡唐した記録として『入唐求法巡礼行記』を著した。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 i. 下線部 i に関連して、かな文学に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 藤原頼通の娘である中宮彰子に仕えた紫式部は、宮廷貴族の生活を題材とした『源氏物語』を著した。
- ② 藤原道隆の娘である皇后定子に仕えた清少納言は、宮廷生活の体験を『枕草子』にまとめた。
- ③ 一夫多妻の社会に生きる女性の苦悩を描いた『蜻蛉日記』は、菅原孝標の女が記したものである。
- ④ 歴史に素材を取り、和文体で書かれた『増鏡』は、四鏡の最初に位置づけられている。

問 j. 下線部 j の編纂を命じた天皇として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 村上天皇 ② 宇多天皇 ③ 醍醐天皇 ④ 後三条天皇

2 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

安政の五カ国条約締結の翌年から、自由貿易が始まり、日本からは生糸や蚕卵紙などが輸出された。輸出品の大半を占めた生糸の生産地では座繰の普及により手工業のまま生産が拡大したが、絹織物の特産地は原料の不足と価格高騰で打撃を受けた。

明治政府が誕生し、政府は貿易赤字を解消しようとして生糸の生産拡大に力をいれ、富岡製糸場を設けた。明治十四年の政変後、松方財政による厳しい緊縮・デフレ政策のため米価や繭価が下落し、農家に打撃を与えた。その後、日本経済は1880年代後半から産業革命期をむかえ、製糸業は輸出産業として急速に発展した。産業革命の進展にともない、賃金労働者が増加し、そのなかで製糸女工などは劣悪な労働環境のもとにあった。日露戦争後になると、日本は1909年に世界最大の生糸輸出国となった。

その後、第一次世界大戦が始まると、日本経済は大戦景気となり、戦争景気のアメリカ市場に生糸の輸出が急増した。しかし、日本経済は1920年代には戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌が発生し、1930年には世界恐慌の影響などを受けて昭和恐慌となった。恐慌のなか、米価をはじめとして農産物価格が暴落し、生糸も輸出が激減して繭価の低落も著しかった。その結果、東北地方を中心に農家の困窮は深刻となって農業恐慌が発生した。

問 a. 下線部 a に関連して、幕末の貿易に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 貿易は横浜・長崎・兵庫の 3 港で始まり、当初、貿易の輸出入額は圧倒的に横浜が多かった。
- ② 貿易開始当初、最大の貿易相手国はアメリカであり、アメリカからは鉄砲や艦船などが輸入された。
- ③ 貿易は銀貨を用いて行われたために日本から銀貨が海外に流出し、幕府は銀貨の改鋳を行った。
- ④ 幕府は貿易統制として、生糸や水油などの五品は江戸の間屋を経由して輸出するように命じた。

問 b. 下線部 b に関連して、江戸時代の絹織物の特産品として適切でないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 西陣織 ② 丹後縮緬 ③ 奈良晒 ④ 結城紬

問 c. 下線部 c に関連して、富岡製糸場に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 群馬県に設立された官営模範工場で、フランスの先進技術の導入や普及がはかられた。

イ 日本各地から集まった工女が技術を習得して各地に伝えることで、生糸の増産をすすめる基礎をつくった。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
- ③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 d. 下線部 d に関連して、松方財政で行われた事柄として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 軍事費を含む緊縮財政 ② 第一国立銀行の創設
- ③ 金本位制の採用 ④ 官営事業の払い下げ

問 e. 下線部 e に関連して、不況下の生活に苦しむ農民らが困民党などをつくって蜂起した事件として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 大阪事件 ② 秩父事件 ③ 福島事件 ④ 加波山事件

問 f. 下線部 f に関連して、製糸業の発展に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 国産の繭を原料として生産した生糸を輸出することで、製糸業は外貨獲得産業として発展していった。

イ 臥雲辰致の発案による器械製糸の技術が普及し、日清戦争後には器械製糸の生産量が座繰製糸のそれを上まわった。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 g. 下線部 g に関連して、次の史料は製糸女工の悲惨な当時の状況を新聞記者が取材し、伝えたものである。この史料の典拠として適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

余嘗て桐生・足利の機業地に遊び、聞いて極楽、観て地獄、職工自身が然かく口にせると同じく、余も亦たその境遇の甚しきを見て之を案外なりとせり。而かも足利・桐生を辞して前橋に至り、製糸職工に接し、更に織物職工より甚しきに驚ける也。…

- ① 『日本之下層社会』 ② 『女工哀史』
③ 『あゝ野麦峠』 ④ 『職工事情』

問 h. 下線部 h に関連して，第一次世界大戦中の動向Ⅰ～Ⅲを，古いものから年代順に並べたものとして適切なものを，下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 日本がアメリカと石井・ランシング協定を結んだ。

Ⅱ 日本が袁世凱政府にいわゆる二十一カ条の要求を行った。

Ⅲ 日本がシベリア・北満洲への派兵を決定した。

① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

問 i. 下線部 i に関連して，次の史料は金融恐慌に関するものである。この史料に関する説明として適切なものを，下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

現内閣ハ一銀行一商店ノ救済ニ熱心ナルモ，支那方面ノ我が居留民及対支貿易ニ付テハ何等施ス所ナク，唯々我等ノ耳ニ達スルモノハ，其ノ慘憺タル暴状ト，而シテ政府ガ弾圧手段ヲ用イテ，之等ノ報道ヲ新聞紙ニ掲載スルコトヲ禁止シタルコトナリ。之ヲ要スルニ，今日ノ恐慌ハ現内閣ノ内外ニ対スル失政ノ結果ナリト云フヲ憚ラズ。…

（『伯爵伊東巳代治』）

① 「現内閣」とは，立憲政友会の田中義一内閣をさす。

② 「一銀行」とは台湾銀行を，「一商店」とは鈴木商店をさす。

③ 「新聞紙ニ掲載スルコトヲ禁止」は，讒謗律に基づく処置である。

④ 伊東巳代治の主導により，銀行救済案が貴族院で否決された。

問 j. 下線部 j に関連して，昭和恐慌発生の要因となった出来事として適切なものを，次のうちから一つ選びなさい。

① 貨幣法の制定

② 金融緊急措置令の公布

③ 金輸出の解禁

④ 管理通貨制度への移行

3 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

後醍醐天皇は、1331年の討幕挙兵計画が失敗し隠岐に流されたが、討幕の機運が広がるなかで^a隠岐を脱出した。1333年に鎌倉幕府が滅亡すると京都へ戻り、光厳天皇を廃して、建武の新政と呼ばれる、新しい政治を始めた。後醍醐天皇は、摂政・関白を置かず、これまでの院政や幕府も否定し、また、すべての土地所有者の確認には天皇の を必要とするという法令を出し、権限を集中させた。しかし、現実には天皇の力だけで治めるのには限界があり、 などの機関が中央に設置され、また地方には国司と守護が併置されていた。

このような天皇を中心とした政治体制は、それまでの武家社会の慣習を軽視していたため、武士たちの不満や抵抗を惹起することになった。そうした状況のなかで、鎌倉幕府の最後の得宗であった北条高時の子である北条時行が決起すると、^dその反乱を討伐するため関東に下った足利尊氏は、討伐後に後醍醐天皇の新体制に反旗を翻した。

足利尊氏は、1336年に京都を制し、光明天皇を擁立して、当面の施政方針である『建武式目』を定めた。これに対して、後醍醐天皇は吉野の山中へ逃れ、自らが^e正統の皇位にあると主張した。以後、 統の流れをくむ南朝と 統の流れをくむ北朝が対立し、約60年間にもわたる南北朝の動乱が始まった。

動乱の当初、南朝側は、鎌倉幕府を滅ぼした新田義貞や、 が戦死したこともあり、形勢が不利であったものの、^h北畠親房らが抵抗を続けた。

一方、北朝側は、1338年に足利尊氏が征夷大將軍に任じられ、室町幕府をひらいた。しかし、尊氏の執事である を中心とした、武力による所領拡大を狙う勢力と、尊氏の弟である足利直義を中心とした、鎌倉幕府以来の法秩序を重視する勢力との対立が激しくなり、^j1350年に両勢力は武力衝突を起こした。

上述のような動乱のなかで、次第に力を増した地方武士を動員するため、幕府は^k守護の権限を大幅に拡大した。守護はその権限を利用して荘園や公領を自らの所領とし、支配下に置くようになった。さらに、荘園や公領の領主が年貢の徴収を守護に請け負わせることも頻繁に行われるようになった。そのため、守護のな

かには一国全体の支配権を確立するものが出てくるようになり、彼らは守護大名¹と呼ばれることもあった。

しかしながら、守護の力が弱い地域では、m と呼ばれる武士たちが自主的に相互の紛争を解決したり、農民を支配するために契約を結んだりして、地域で m 一揆を起こすこともあった。このように彼らは一致団結して、守護の支配に抵抗する力をもつところもあった。

問 1 下線部 a の事件を何とよぶか答えなさい。

問 2 空欄 b には天皇の意志を蔵人が承って伝える形式の文書を示す語句が入る。この語句を漢字 2 文字で答えなさい。

問 3 空欄 c には鎌倉幕府の時代に裁判の公平と迅速を図るために設置された機関を引き継ぎ、専ら所領問題等の訴訟を裁決した機関が入る。その機関を何とよぶか答えなさい。

問 4 下線部 d の事件を何とよぶか答えなさい。

問 5 下線部 e に関連して、次の史料について、以下の問に答えなさい。

…遠くは延喜・天曆兩聖の徳化を訪ひ、近くは義時・泰時父子の行状を以て、近代の師となす。殊に万人帰仰の政道を施されば、四海安全の基たるべきか。仍て言上件の如し。(『建武式目』)

上記の二重線に関連して、鎌倉幕府が制定した基本法(武家法)を何とよぶか、漢字 5 文字で答えなさい。

問 6 空欄 f—1 と空欄 f—2 に当てはまる語句を、それぞれ漢字 3 文字で答えなさい。

問7 空欄 g には後醍醐天皇に仕え、摂津・河内・和泉の守護となったものの、足利尊氏の大军を迎え撃った摂津湊川で戦死した人物が入る。その人物は誰か答えなさい。

問8 下線部 h に関連して、北畠親房が後村上天皇までの皇位継承の経緯について述べ、大義名分論に基づいて、南朝の正統性を主張した歴史書を何とよぶか答えなさい。

問9 空欄 i には室町幕府創設時の功勞により執事となり、権勢をふるった人物が入る。その人物は誰か答えなさい。

問10 下線部 j に関連して、両勢力の武力衝突およびそれに連動した全国的争乱を何とよぶか答えなさい。

問11 下線部 k に関連して、守護の権限の一つで、次の史料に示されている施策を何とよぶか答えなさい。

一 寺社本所領の事 観応三・七・廿四御沙汰…次に近江・美濃・尾張三ヶ国の本所領半分の事、兵粮料所として、当年一作、軍勢に預け置くべきの由、守護人等に相触れ訖んぬ。半分に於いては、宜しく本所に分かち渡すべし。(『建武以来追加』)

問12 下線部 l に関連して、この時代に南北朝の合体にも功績があり、周防、長門など6か国の守護であったが、応永の乱を起こして敗死した有力守護大名は誰か答えなさい。

問13 空欄 m に当てはまる語句を答えなさい。